

環境問題の変遷と三瓶自然館の役割

島根県立三瓶自然館 森本 直知

1. 環境とは何？自然とは何？

- ・世界の四大文明 メソポタミア文明, エジプト文明, インダス文明, 中国文明
- ・湿原の時間 俵 万智
蛇行する川には蛇行の理由あり急げばいいってもんじゃないよと「人間の役に立たぬ湿原」にとって役には立たぬにんげん
- ・国における自然再生事業 県の自然再生事業

2. 自然環境等の背景

- ・国土 約38万km² 南北 3000Km
狭い国土・・・68%森林, 13%農用地, 国土8割以上 宅地4%
- ・国立, 国定, 都道府県立公園 国土14.2% 自然植生 国土の19%
- ・島根県の14の自然公園 県土の6%
- ・島根の自然
みんなで守る郷土の自然 31カ所 みんなで作る身近な自然観察路 50カ所
自然環境保全地域 6カ所

3. 環境, 公害等の主な経緯・変遷

- S37 大山国立公園に隠岐, 三瓶山編入, 比婆道後帝釈国定公園指定
- S39 県立自然公園指定 鬼の舌震いなど8地域
- S44 島根県公害対策審議会 公害元年 第11回国立公園大会三瓶山にて西中国山地国定公園指定
- S46 環境庁発足, 尾瀬沼の保全問題, 島根県水質審議会
- S48 第1回自然環境保全基礎調査(みどりの国勢調査) 大山隠岐国立公園管理事務所設置 鉱害健康被害補償法 笹谷鉱害防止工事
- S52 自然環境保全地域指定(赤名湿地植物群落, 六日市コウヤマキ自生林)
- h3.7 財団法人三瓶フィールドミュージアム財団設立
- h3.10 島根県立三瓶自然館オープン
- h 5 環境基本法制定 h 6 国連地球環境子供サミット
- h11 島根県環境基本計画策定 h12 島根県地球温暖化防止対策推進計画策定
- h13 環境省 発足

4. 島根県環境基本計画

テーマ 豊かな環境を守り はぐくみ 持続的に発展する島根をめざして
基本目標 循環型社会の構築 人と自然の共生 地球環境保全 環境保全活動
施策 7重点プロジェクト

- ・自然と共生する島根ふれあい四季空間プロジェクト
マニフェスト
自然とふれあう全県フィールドミュージアム構想の実現
三瓶自然館を中心とした環境教育・環境学習のネットワークづくり

目標 (抜粋)

- ・平成22年度までに自然観察モデルコースを20カ所選定
- ・平成15年度までにみんなでつくる身近な自然観察路50カ所について再編成
- ・平成20年度までにみんなでつくる自然観察の森を新たに10カ所選定
- ・平成12年度までに島根県自然解説員を74名
- ・平成21年度までにすべての県立自然公園の公園計画を見直し再編整備
- ・平成22年度における一人あたりの公園面積(都市計画区域内)を概ね20㎡
- ・平成13年度までに鳥獣保護区を93カ所(43,005ha) 特別保護区を16カ所(860ha)
- ・平成15年度までにみんなで守る郷土の自然選定地域を50カ所選定
- ・平成22年度までにしまねレッドデータブックの緊急保護種16種, 要保護種
- ・20種について, 適正な保護対策を確立するよう努める。